

會報

平成 30 年 5 月 8 日 発行

第 69 号

関東地区整形外科勤務医会

発行者：会 長 山縣 正庸

発行所：事務局 中川 照彦

〒130-8587 東京都墨田区横網 2-1-11

同愛記念病院整形外科内

関東地区整形外科勤務医会

電話 (03) 3 6 2 5 - 6 3 8 1

FAX (03) 5 6 0 8 - 3 2 1 1

巻頭言

次世代医療基盤法の施行について

千葉労災病院

山 縣 正 庸

昨年5月12日に交付されこの5月12日までに施行が予定されている法律があります。安倍内閣が押し進めている政策で別名医療ビッグデータ法とも呼ばれています。我々医療従事者が診療に際して得られる患者の医療情報（カルテの内容、検査データの結果等、要配慮個人情報を含むデータ）はこれまでは各医療機関に患者データとしてただ蓄えられるだけでした。この法律ではこれを引き出しての大量の医療データを今後の医療に大いに利用しようとするものです。個人情報であるためにその管理が非常に重要です。そこで、政府は個人情報を匿名加工する基準を詳細に決めて、それが可能である事業者を認定事業者（匿名加工医療情報作成事業者）とする事、又病院や、クリニックを受診する患者には受診の際にデータを第三者に渡す事を口頭で説明し、記録する事、情報の提供を拒否したい場合にはオプトアウトできる事を決めました。これにより、医療機関は患者の医療情報を第三者の機関に提供する事が可能になります。しかも、提供の際には患者の同意を必要としません。得られた情報は業者が匿

主要目次

1. 巻頭言	山縣 正庸	1
2. 成績不良例に学ぶ股関節手術	中島 康晴	2
3. 整形外科のための保険請求基礎知識と最新の審査解釈	岩瀬 嘉志	3
4. 平成 29 年度関東地区整形外科勤務医会幹事・常任幹事会議事録		4
5. 平成 29 年度関東地区整形外科勤務医会常任幹事会議事録		5
6. お知らせ		7
7. 編集後記		8
8. 入会のご案内		9

名加工して個人が特定できないようにします。その情報を利用したい研究機関はその情報（匿名加工されている）を手に入れて分析、研究に利用します。個人情報の受け渡しになるのでその記録、保管が求められます。改正個人情報保護法（昨年5月30日施行）に従って、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」も新指針と改正（昨年2月28日）され同5月30日から施行されています。研究の方法や態様によりインフォームドコンセントの取り方が定められたのはもちろんですが、加えて、資料の適正な記録、保管が求められます。研究不正を防ぐため情報のトレーサビリティ確保が重要視されています。

今後この制度が導入される事により医療情報が大いに社会に還元できる事になります。しかしそのためには受診の際に適正な同意を得ている事が条件です。自分が検査を受けてその結果、診断を受けるという利益を得るのに自分の情報を提供するのをなぜ拒否するのか。個々人の立場があり、個人の情報は尊重しなければなりません。しかし、患者から得られる情報は患者個人のものではありますが、その採血の結果が正常なのか異常なのかはこれまで研究等で得られた情報から判断されるものです。医療情報は患者個人のものではありますが、それは社会全体が享受できる情報でもあるのです。この事を社会全体に説明しなければなりません。各医療機関で医療情報を第三者に提供するには適切な同意を得る事が必須です。自分の医療機関ではどのような体制になっているか確認が必要です。

昨年5月30日に改正個人情報保護法が施行されましたが、大学等の研究機関は研究計画書の変更に早急な対応を迫られました。現在進行中の研究でもこれから得る情報はすべて改正個人情報保護法に従った同意が必要になるからです。6ヶ月間の猶予機関がありましたが、申請されている研究がこの改正個人情報保護法に従っていないと適正な研究と見なされず、研究費の変換を求められるとの事でした。従って大学を含め多くの研究機関では研究計画書の見直し、場合によっては研究倫理審査の再申請がなされた事と思います。

一方で大学等の研究機関ではない一般病院の我々はあまり、この変化に気づいていなかったかも知れませんが、ビッグデータがより効率的に利用できるようになる反面、各医療機関での情報管理が一層厳しく制定されました。患者の情報管理についてはより一層の管理が必要となっています。医療機関（医療情報取扱事業者）でも医師のみならず職員全体に、又患者さん自身への対応が必要です。特に医療機関の管理者の立場にある先生方においては対応をよろしくお願いいたします。

成績不良例に学ぶ股関節手術

九州大学整形外科

中島康晴

股関節疾患の治療において手術的治療の占める割合は大きい。若年の寛骨臼形成不全には骨盤および大腿骨の骨切り術が適応となるし、進行した股関節症には人工股関節置換術が治療法の中心である。それに加えて、最近ではFAIに対する鏡視下手術も大きく件数を伸ばしている。

もちろん、どんな手術であれ learning curve は存在するし、合併症をゼロにすることは困難である。とは言え、何らの問題が生じた場合、その発生原因を掘り下げ、自分なりに対策を立てる必要がある。でなければ同じ間違いは容易に繰り返されるであろう。例えば術中に骨折が起きた場合、「骨がととも脆かった」などと患者に原因を求めたくなるものであるが、後から見れば予測可能であることが多く、その根本的な原因は準備不足、確認不足など術者に帰することが少なくない。

股関節術後成績不良の具体例は、術中の骨折から THA 後の頰回脱臼、感染、関節症進行、早期のインプラント弛みまで多岐にわたる。技術の未熟さが原因である場合もあるし、寛骨臼形成不全に対する鏡視下手術後の成績不良例は適応そのものの問題であろう。大径骨頭の metal on metal 後の ARMD は不良な機種選択によるものである。本講演では私自身が経験した症例を中心に呈示し、それらの原因と対策について考察した。

整形外科のための保険請求基礎知識と最新の審査解釈

順天堂東京江東高齢者医療センター整形外科

岩瀬 嘉志

日本の医療制度は国際的にも先進国の中で高い評価を得ており、その中核となるいわゆる国民皆保険制度施行後既に 56 年が経過している。本邦の制度の特色は、貧富の差なく全国民に現時点で考え得る最高の医療を提供できるもので、米国などの限定的でその大部分は自費となる制度とは一線を画する。しかしそれ故に医療費を含む社会保障費は 30 兆円を大きく上回り国の財政を圧迫し、赤字国債発行は本年で 42 年連続となっている。また社会保障費は今後も少子高齢化の加速と医療の進歩により益々増加すると予想される。フリーアクセス、一律平等、最高医療提供の本邦医療制度は既に日本の文化ともいえ、今後も継続させるためにはわれわれ医師一人一人が自らの意見を表明できるように日頃より問題意識を持ち診療にあたる必要がある。わが国の診療報酬支払制度は、医療者と保険者の間に社会保険支払基金と国保連合会の二つの基金を通して行われており、その際に診療報酬請求が適切かどうか審査が行われる。整形外科では審査の画一化適正化のために全国整形外科保険審査員会議と都道府県単位での国保社保連絡会議等が行われている。しかし審査の実際においては、画一化は元々個々の症例毎に背景が異なり困難で、また時代と共に変化するものである。世界に誇る本邦医療制度継続進歩のためには、日々の保険診療における請求側、審査員、保険者、被保険者それぞれが制度の問題点を考え、改善しようとする意識を持ち、相互理解を深化させてゆくことが不可欠である。

平成 29 年度関東地区整形外科 勤務医会幹事・常任幹事会議事録

日時：平成 29 年 12 月 9 日 土曜日 15:00～15:45
場所：A P 東京八重洲通

出席幹事・常任理事 37 名 (順不同、敬称略)

山縣 正庸	江畑 功	中川 照彦	原田 繁
楠瀬 浩一	村松 俊樹	鎌田 修博	田中 利和
穂積 高弘	浅野 聡	泉田 良一	伊室 貴
岩瀬 嘉志	浦部 忠久	大江 隆史	大野 隆一
岡崎 裕司	木村 雅史	小柳 貴裕	坂根 正孝
佐々木 孝	篠崎 哲也	進藤 重雄	杉山 肇
土屋 正光	平泉 裕	平野 篤	別府 保男
星川 吉光	堀内 行雄	松田 達男	松原 正明
山崎 隆志	有馬 亨	児玉 隆夫	蜂谷 將史
上田 誠司			

議 題

【報告事項】

- 1 理事会報告
山縣先生より報告
- 2 関東地区整形外科勤務医会(第 65 回教育研修会)
村松先生より報告
平成 29 年 12 月 9 日(土) 16:00～18:00
A P 東京八重洲通

演題 1

座長：東京労災病院副院長 楠瀬浩一先生
講師：順天堂江東高齢者医療センター准教授
岩瀬嘉志先生
演題名：整形外科医のための保険請求基礎知識と最近の審査解釈
必須分野：【14-4】

演題 2

座長：神奈川県リハビリテーション病院院長
杉山 肇先生
講師：九州大学大学院医学研究院
整形外科教授 中島康晴先生
演題名：成績不良例に学ぶ股関節手術
必須分野：【3】【11】【Re】

- 3 来年の関東地区整形外科勤務医会 幹事・常任幹事会、総会、第 66 回教育研修会の日時、場所

日時：平成 30 年 6 月 2 日(土)
場所：A P 東京八重洲通

14:30～15:20	幹事・常任幹事会
15:30～15:50	総会
15:50～16:00	商品説明
16:00～18:00	第 66 回教育研修会 2 演題

熊井司先生(早稲田大学スポーツ科学院教授)：足の外科関係(アキレス腱障害か?)

黒澤尚先生(順天堂大学特任教授)：膝 OA の保存療法

18:00～ 情報交換会

- 4 土屋正光先生が監事を退任
- 5 楠瀬浩一先生が新監事に就任
- 6 新常任幹事内定
大野隆一先生(越谷市立病院 副院長・整形外科部長)
富田善雅先生(東京労災病院 整形外科部長)
- 7 ホームページ・会報
江畑先生より報告
- 8 ロコモ 関連
大江先生より報告

9 外保連関係
原田先生より報告、平泉先生より追加報告

10 内保連関係
山縣先生より報告

11 第67回教育研修会の日程、場所
日程：平成30年12月15日（土曜日）
場所：A P東京八重洲通

12 その他
新常任幹事内定の犬野隆一先生（越谷市立病院
副院長・整形外科部長）よりご挨拶

5 東日本整形災害外科学会の理事選出に関して
山縣先生を理事に推薦することが全会一致で
決定

6 来年3月の常任幹事会の日程
3月19日（月）19:00 A P八重洲 で決定

平成29年度関東地区整形外科 勤務医会常任幹事会議事録

日時：平成30年3月19日 月曜日 19:00～20:00
場所：A P東京八重洲通

【審議事項】

1 第67回教育研修会（平成30年12月15日土曜
日）の演者の選定に関して

村松先生より報告、演者は未定

2 第66回教育研修会の座長に関して

演者：早稲田大学スポーツ科学院教授
熊井 司先生

⇒座長：荻窪病院 早稲田明生先生
に全会一致で決定

演者：順天堂大学特任教授
黒澤尚先生

推薦者 木村雅史先生

⇒座長：善衆会病院 木村雅史先生
に全会一致で決定

3 来年の東日本整形災害外科学会のシンポジウム
に関して

山縣先生より報告

4 単回使用手術器具のリユース禁止に関して
山縣先生、山崎先生、岡崎先生より意見

議 題

【報告事項】

1 理事会報告

山縣先生より報告

2 関東地区整形外科勤務医会（第66回教育研修
会）

村松先生より報告

平成30年6月2日（土）16:00～18:00

A P東京八重洲通

【演題1】 座長：荻窪病院（役職名確認）

早稲田明生先生

講師：熊井 司 先生

早稲田大学スポーツ科学学術院 教授

演題名：アキレス腱障害の病態と治療

必須分野番号：2、12

【演題2】 座長：善衆会病院（役職名確認）

木村雅史先生

講師：黒澤 尚 先生

順天堂大学医学部整形外科学 名誉教授

演題名：変形性膝関節症の保存療法

必須分野番号：12、13

3 来年度の関東地区整形外科勤務医会 幹事・常任幹事会、総会

日時：平成30年6月2日(土)

場所：AP東京八重洲通

14:30～15:20 幹事・常任幹事会

15:30～15:50 総会

15:50～16:00 商品説明

16:00～18:00 第66回教育研修会 2演題

4 土屋正光先生が監事を退任

5 楠瀬浩一先生が新監事に就任

6 新常任幹事内定

大野隆一先生(越谷市立病院 副院長・整形外科部長)

富田善雅先生(東京労災病院 整形外科部長)

6月2日の総会にて承認予定

7 ホームページ・会報

江畑先生より報告

ホームページに会報を掲載

8 ロコモ 関連

大江先生より

9 外保連関係

原田先生より、平泉先生より

10 内保連関係

山縣先生より

11 第67回教育研修会の日程、場所

日程：平成30年12月15日(土曜日)

場所：AP東京八重洲通

12 東日本整形災害外科学会の理事選挙に関して
木村雅史先生が9月で理事を退任するため、
勤務医会から山縣会長を推薦する

13 その他

【審議事項】

1 第67回教育研修会(平成30年12月15日土曜日)の演者の選定に関して

村松先生より、演者は未定

2 東日本整形災害外科学会のシンポジウム(平成30年9月21・22日 秋田市 会長：島田洋一教授)に関して

山縣先生より

3 新幹事・新常任幹事の推薦

(推薦する先生は推薦された先生が関東地区整形外科勤務医会の会員であるか否かを事前にご本人に確認してください)

4 10月の常任幹事会の日程

翌年に日整会の理事・監事・代議員の選挙がある

5 その他

お知らせ

第66回 日整会認定教育研修会の御案内

関東地区整形外科勤務医会では、下記のごとく幹事会及び教育研修会を開催いたします。なお、研修会の出席予約は要りません。専門医以外の先生方もお誘いの上、ご参加下さい。会終了後、懇親会も予定しております。

記

日 時：平成30年6月2日（土）

会 場：AP東京駅八重洲通り 7F

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目10-7号

TEL 03-6228-8109（当日連絡先）

幹事・常任幹事会：13:30～14:20

総 会：14:30～14:50

14:50～15:50

【小児運動器疾患指導管理医師セミナー】 DVD 視聴研修

『小児運動器疾患の診断と治療』

千葉子どもとおとなの整形外科 院長 亀ヶ谷真琴 先生

・日整会会員の方はカードID番号が必要です。（受講料 1,000円）

・日整会非会員の方は指名、生年月日を記帳頂きます。（受講料 5,000円）

15:50～16:00

【教育情報提供】 骨代謝マーカーTRACP-5bの有用性 帝國製薬株式会社

16:00～17:00

【演題Ⅰ】 座長：荻窪病院リハビリテーション科部長 早稲田 明生先生

『アキレス腱障害の病態と治療』 [2] [12]S

演者：早稲田大学スポーツ科学学術院

教授 熊井 司 先生

17:00～18:00

【演題Ⅱ】 座長：善衆会病院院長 木村雅史 先生

『変形性膝関節症の保存療法』 [12] [13] Re

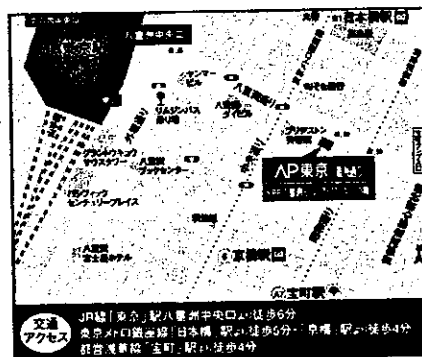
演者：順天堂大学医学部整形外科 特任教授 黒澤 尚 先生

受 講 料：1題 ¥1,000—（単位取得者のみ）

懇 親 会：会終了後情報交換の場を設けております。

共 催：関東地区整形外科勤務医会

帝國製薬株式会社



事務局から

公文書の「書き換え」あるいは「隠ぺい」などの話題が世間をにぎわしています。どの程度の思惑があったのかについてはまだ明確にはなっていませんが、自分の都合に合わせて扱ってよいものでは決してありませんので、きちんとした事実解明と再発予防(こんな時にいつも使われる言葉ではありますが)に努めてほしいものです。

いわゆる「公文書」とまではいかないかもしれませんが、このたび本会の過去の会報をホームページに掲載することになりました。私がたまたま保管していたものをとりあえず掲載させていただきましたので、途中抜けている号も多くあります。昭和59年12月の創刊号は何かの折に後から私がいただいたものだったと記憶していますが、初代会長の森先生の力強いお言葉には今でも勇気づけられるような気がしてしまいます。その後の号でも先輩諸先生方の貴重な意見が書かれており、本会の歴史に触れられるよい機会になると考えますので、ぜひご覧

(<http://www.osnka.jp/index.html>) いただきたいと思えます。決して色褪せることのない、「書き換え」などまったく必要ない貴重な文章ばかりだと思えます。また、もし掲載されていない号をお持ちの先生がいらっしゃれば、是非とも事務局までご連絡をお願いいたします。

昨年12月の研修会でも非常に多くの先生方に参加いただき、大盛況でした。今回もその時の講演抄録をいただき、掲載させていただきました。来る6月の総会・研修会には、ぜひ若手の先生方にも声をかけていただき、さらに盛況になることを期待したいと思います。またその際は、ぜひ勤務医会の会員になるようにお話しいただけるよう、お願いいたします。ホームページも少しずつですが更新しており、各病院のホームページにもリンクしています。万一掲載漏れや変更等ありましたらご連絡ください。今後さらに充実させていきたいと考えておりますので、会員の皆様のご意見をお寄せください。

(文責 江畑)

入 会 申 込 書

平成 年 月 日

(フリガナ) 御 氏 名 _____

生 年 月 日 (大正・昭和) _____ 年 月 日

現 住 所 〒 _____

TEL _____

勤 務 先 名 称 _____

勤 務 先 住 所 〒 _____

TEL _____

FAX _____

e-メール _____

役 職 名 _____

出 身 大 学 _____

卒 業 年 度 _____

出 身 教 室 _____

入会申込み送り先

〒130-8587 東京都墨田区横網2-1-11
同愛記念病院整形外科
関東地区整形外科勤務医会
事務局代表 中川 照彦
TEL 03-3625-6381
FAX 03-5608-3211